

宮古市崎山地区民生委員児童委員協議会

(平成 27 年 3 月)

1. 崎山地区の紹介

宮古市崎山地区は、市の中心部から 6km ほど北に位置し、地域内に陸中海岸国立公園があります。高台は新興住宅地で、世帯数 1,300 戸、人口 3,500 人の起伏の富んだ比較的住みよい町で、民生委員・児童委員 11 名（うち主任児童委員 2 名）で活動しています。

産業の中心は漁業でしたが、東日本大震災では漁業関連施設等が壊滅的被害を受け、ほとんどの漁船は流され、多くの漁家が廃業しました。当地区では死者 22 名、全壊家屋 37 戸の被害を受け、民生委員・児童委員も 1 名が避難誘導中に亡くなり、1 名が家屋に被害を受け、現在も応急仮設住宅で生活しながら活動しています。

2. 震災時の地区の様子

震災時、避難指定場所の崎山小学校体育館には約 130 名が避難しました。震災から 5 日目で避難勧告が解除され、約 60 名は自宅に戻りましたが、約 70 名は応急仮設住宅が建設されるまでの約 4 か月間、不便な避難所生活を送りました。

3. 現在の地区の様子

高台に復興団地が建設中で、災害公営住宅 24 世帯分、分譲地 6 戸分が平成 27 年 3 月末に完成予定です。また、津波で家屋を失った他地区の方がたが安全安心な環境を求めて当地区内に住宅を新築し、急速に世帯数が増加しています。

海岸では、港や関連施設、防波堤の工事が少しずつ進んでいます。

4. 活動紹介

毎月の定例会には、社協の生活支援相談員にも出席してもらい、応急仮設住宅やみなし仮設住宅の住民の状況報告を受け、意見交換を行なっています。

敬老の日には、地区内の 75 歳以上の高齢者を対象に敬老祝賀会を開催しました。また、宮古市社協が毎月開催する高齢者サロン「ほっとホーム」、「いきいきサロン」に委員も参加しています。

昨年 8 月に開催された「崎山震災復興夏祭り」には、当民児協が共催したほか自治会や公民館、小中学校、PTA、商工会議所青年部など多くの関係者が関わり、盛大なお祭りとなりました。

その他、保育所、小・中学校との交流会も定期的で開催し、不登校、いじめ、虐待、非行などの問題について情報交換を行なっています。



崎山震災復興夏祭り「小学生のソーラン節」



保育所、小・中学校との交流会

5. おわりに

東日本大震災では全国の民生委員・児童委員の皆様から温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。皆様の励ましにより、少しずつ先が見えてきたところです。

これからは、応急仮設住宅を離れ、自立していかなければなりません。これまでの4年間は家賃も不要で、国の支援等も種々ありましたが、これからはすべて個々で賄って生活していかなければならず、大変になると思われます。

私たち民生委員・児童委員は今まで以上に被災者と向き合い、寄り添っていきたいと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。